

札幌市下水道処理施設再構築方針の策定について

1. 再構築方針策定の概要

- 老朽化した下水道施設の急増が見込まれる中、市民の安全で快適な暮らしや社会活動を支える下水道の機能を将来にわたり維持していくためには、今後必要となる改築事業を見据えた長期的な財政状況を見通し、計画的に事業を運営していく必要があります。
- 平成 27 年 3 月に策定した「札幌市下水道改築基本方針」では、既に改築を実施している管路施設や、処理施設の機械・電気設備に関する中長期的な事業見通しを示したところですが、今回報告する「(仮称) 札幌市下水道処理施設再構築方針」は、本市では未だ改築実績がない処理施設の土木・建築構造物に関する、将来下水量に見合った適正な施設規模や、統廃合を含めた施設配置など、今後の長期的な再構築の方向性を示すものです。
- 本方針には、参考として、単年度事業費や事業期間などを一定の条件で想定した場合の全体事業費の試算を示していますが、施設の再構築に要する期間は長期に及ぶことが想定され、その間に社会情勢の大きな変化も見込まれることから、実際に事業を実施する際には、その時々の社会的ニーズに応じた検討を行い、具体的な事業計画を策定し再構築を進めていきます。

社会的ニーズの例	検討内容
・ 循環型社会への貢献	新技術の開発動向・クリーンエネルギーの導入検討
・ 防災減災対策	水再生プラザ・ポンプ場の代替性の確保（ネットワーク化など）
・ 下水道事業の効率化	実際の人口推移に合わせた、施設規模や統廃合施設の検討

2. 報告内容

- 「(仮称) 札幌市下水道処理施設再構築方針」の概要を「資料 3-2」にて報告します。

3. 今後の予定

【令和 4 年 3 月】

- 「札幌市下水道処理施設再構築方針」として、札幌市ホームページ上で公表することを予定しています。